



当日のイシモチ仕掛け

• Tackle Guide
 入門者には全長120センチ前後で扱いやすい2本バリ仕掛けがおすすめ。オマツリしたときに解きやすいのと、ハリ数が少ないからエサ付けが楽で手返しがよくなる。フグが多いので交換用のハリを持参し、枝スは交換しやすい回転ビーズで接続する。

東京湾には全国的にも珍しいイシモチ(標準和名シログチ)を専門に狙う遊漁船があり、数を狙う方やのんびり遊ぶ常連さんなど、多くの人に親しまれている。
 そのイシモチ、秋になると群れが集まってきて数釣りのシーズンからスタートする。通常は来年のゴールデンウィークごろまで続くロングランの釣りだ。
 イシモチ釣りの魅力は、ガ

トリガーはアジ?!
 11時を過ぎて上げ潮が動き出すと、20〜25センチ級のアジが交じり始めた。
 船長の話では本牧沖はイシモチとアジの群れが混在して潮が動き始めると先にアジが食い、続いてイシモチが入れ食いになる傾向があるという。つまり、アジが釣れ始めたというところは...などと考えていると、あちこちでイシモチが上がり始めた。
 なかでも右舷トモの石原さんとトモ2番の坂田さんは入れ食いモードに突入。
 二人に話をうかがうと、共通していたのは誘い方と枝ス

の長さ。誘いはエサを動かしてリアクションで食わせるイメージで、オモリで底をトントンと4〜5回小づいてからゼロテンションで10秒待つというもの。
 枝スは、リアクション狙いの誘いを入れたときにエサを動かしやすいように、アタリを分かりやすくするため、15センチと短めにしているという。
 「以前もこの誘い方で枝スを短くしたときに入れ食いになったことがあったので、長さ

の違う枝スをたくさん用意してきました」と坂田さん。
 「坂田君が短い枝スで連発していたので、同じように短くしました」と石原さん(坂田さんの先輩)。
 1時間ほどで食いは落ちてきてしまいい前日ほど数はのびなかつたものの、みなさんお土産には十分な数を確保していた。
 撮影を済ませた昼過ぎ、私も竿を出すことにした。慣れていないので船長に教わった基本の釣り方始める。
 胴つき2本バリ仕掛けにアオイソメ1匹をチョン掛けにして船下へ投入。オモリが着底したら糸フケを取り、ゆっくり5秒かけて竿先を1メートル持ち上げ、続いて竿先をゆっくり下げて仕掛けを再着



▲食いが立つと一荷で釣れることもたびたびあった

入れ食いになったとのこと。今日も本牧沖へ向かうという。これは期待できそうだ。
 常連の6名が集まり、準備が整ったところで7時半に出船。航程30分ほどで本牧沖のポイントに到着する。
 「水深は22メートルです。それでは始めてください」と船長からの合図で開始。
 スタートしてすぐに左舷トモで派手に竿が曲がり、25センチ級のイシモチが抜き上げられた。いきなりの釣果に、釣った本人も驚いた様子。
 朝イチは船中あちこちでポツリポツリの釣れ具合。30センチ超えの良型も顔を見せる。22センチ程度も釣れるが、25センチ前後が主体だ。全体的に型がよく、皆さん強い引きを楽しんでいた。
 その後は船長がこまめに流し変え、そのたびにアベレージサイズのイシモチが船中2

をつかんでヒット率もアップ。アタつてからハリ掛かりさせるまでのドキドキと掛け損ねたときの悔しさ、そのどちらもあるから面白い。
 8尾目を釣り上げたところで13時の沖揚がり。釣果は22〜32センチのイシモチを一人13〜25尾。アジ、マハタ、イネゴチが交じった。
 帰宅後、まずは塩焼きで香ばしい皮とフワツとした白身の食感を堪能。あとは船長に教えてもらっためんつゆ漬けに。3倍濃縮タイプめんつゆを薄めずに使い、開いたイシモチをこれに漬込んで2日間冷蔵庫で寝かせ、焼いて食べたところバリうま。残りは冷凍保存して少しずつ楽しむつもりだ。



▲スピニングタックルでキャストして広く探る人も

借りられるのでビギナーにもおすすめだ。
潮止まりは投げて探る
 6時半に船宿に到着し、空いている右舷の間に釣り座を構える。イシモチ船の舵を握る相川孝一船長に前日の模様をうかがうと、本牧沖の水深20〜25メートルを狙ってトップ51尾と好調。前半はポツポツと拾い釣りだったが11時くらいから上げ潮が効き出して



▲アベレージは25センチ前後

東京湾のイシモチ好期到来 潮が動くとい入れ食いモード

●東京湾奥金沢八景発↓本牧沖

本誌編集部 近田憲男 Norio Chikada

●船宿 information
 東京湾奥金沢八景
黒川丸
 ☎045-781-8720
 (詳細は巻末の情報欄参照)
 ▶料金=ショートイシモチ乗合一人8000円(エサ、氷付き)、各種割引あり
 ▶備考=予約乗合、7時半出船。ライトアジ、スポットでシログチ、タチウオへも



相川孝一船長

**釣ったイシモチを
おいしく持ち帰る方法**

▼エラの付け根から1センチくらいの部分をカット

釣り場に着了いたら氷を入れたクーラーボックスにバケツでくみ上げた海水を注ぐ。イシモチが釣れたらノド元にハサミを深く差し込み、エラ近くを切り離すと血がドバツと出る。海水を張ったバケツに入れる。5分ほどで血が抜けて動かなくなったらクーラーボックスにしまおう。

